

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式1】

<p><エントリーシート></p> <p>※事務局記入欄</p> <p>No. : C - 9</p>	<p>部門</p> <p>校内研修部門</p>	<p>学校名</p> <p>岩倉高等学校</p>
<p>活動名</p> <p>校内若手教員研修 各教員の個の育成と学校組織の強化</p>		
<p>課題の設定： 教員自身が成長し続ける意欲向上と環境作り・組織力の強化</p> <p>授業準備や担任業務など、個人の裁量が大きい仕事が多い。そのため自身を振り返り、成長を続けていく意欲や、仕事をチームとしておこなっているという意識が薄くなりがちになってしまう。そこで入職 4 年目までの教員 28 名と中堅・学年主任・管理職も参加する研修を月に 1 度おこなうことで上記の課題の打開を目指す。</p>		
<p>方針・計画： 各教員の個の育成と学校組織の強化</p> <p>若手・中堅・学年主任・管理職という立場や、校務分掌・学年団などの垣根を越えて、1 つのテーマに関して相談し、話し合える風通しのよい環境作りを心がけた。悩み・相談・アドバイスや、様々な視点の共有を通して、各立場における個人の振り返りと、チームで仕事をしているという横のつながりの強化をはかった。</p>		
<p>活動内容： ①月に 1 度の若手教員研修の実施 ②月に 1 度のフォローMTG の実施</p> <p>①4 年目以下 26 名の若手教員と学年主任、管理職が必ず参加する研修。各回業務についてテーマを掲げ、校内の先輩教員や、講師を招いて講義やディスカッションをおこなう。前期の運営は 3・4 年目の教員がおこない、後期の運営は 1・2 年目の教員がおこなう。</p> <p>②1 年目 9 名の教員全員に、サポート役のフォローをつけ、月に 1 度以上の面談をおこなう。その内容の共有と前回の若手教員研修を受けての振り返りをおこなう。フォロー9 名と管理職が参加。</p>		
<p>活動の成果： ①専門性だけでなく、多様性の育成 ②学校というチームとしての意識の芽生え</p> <p>①研修のテーマは、社会人（挨拶・服装・電話対応など）、教員（授業・生徒指導・行事確認・事務手続きなど）、校外の活動（JICA 青年海外協力隊など）といった 3 つの視点から様々である。社会人や教員の視点については、所属した校務分掌や学年団という垣根を越えた研修により、自身のついていない分掌のことや、学年の動きを把握することができた。結果、生徒指導の統一化や、他の分掌や学年団への理解を深め、組織力の強化にもつながった。また校外の活動の研修テーマでは、教員という仕事や、自身の専門教科などに関わらず広い視野を持ち、多様な価値観を学ぶ大切さを再確認できた。</p> <p>②若手の教員のみならず、中堅、学年主任、管理職が必ず参加する環境は、学校をそれぞれの立場から支えているという意識が芽生え、風通しのよい環境整備につながった。</p>		
<p>アピールポイント（アイデアや工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手・中堅・学年主任・管理職といった様々な立場の教員が参加している ・民間企業出身者の教員も多く、様々な経歴を活かしている ・研修テーマにより、他の学校の教員や講師の方の参加がある ・7 年前から継続しており、他の学校にはあまり見られない取り組みである 		

直近 3 年間の取り組み内容 ※平成 29 年度は初任者採用がなかったため不実施

【平成30年度若手教員研修 実施計画】

月	議題
4月	5月の行事確認・挨拶・服装・生徒指導・電話対応
5月	6月の行事確認・生徒主体について・JICA青年海外協力隊
6月	7月の行事確認・募集広報活動①・生徒のインターンシップ
7月	8・9月の行事確認・募集広報活動②・教員のマナーと身だしなみ
9月	10月の行事確認・前期の振り返り
10月	iPadの活用法・生徒指導上での問題点
11月	総合学習・クロスカリキュラム
12月	帝京平成大学の方を招いての講演（ディスカッション） 予定
1月	アクティブラーニング（実践） 予定
2月	保健衛生関係 予定

【平成28年度若手教員研修 実施計画】

月	議題
4月	岩倉高校の教員として、学校業務（実践編）
5月	保護者対応、電話対応、名刺交換、事務手続き
6月	体育祭での応急処置、文理選択
7月	外部実習、電子黒板の活用と実践例、生徒への面接指導
9月	面接指導（篠原学園 増田先生）
10月	防災、研修の振り返り
11月	アクティブラーニング実践報告、iPad応用
1月	国際交流、研修の講評
2月	人前に立つこと（尚美ミュージックカレッジ専門学校 滝沢先生）

【平成27年度若手教員研修 実施計画】

月	議題
4月	社会人、教員、授業、HRとは
5月	募集・広報活動、事務手続き、試験・成績
6月	進学指導
7月	教務部、就職指導、前期を振り返って
9月	電子黒板の使用法、新任教員の模擬授業
10月	前期を終えて、部活動指導
11月	女子の生徒指導、保護者対応
12月	キーコンピテンシー
1月	寮の見学



<JICA 青年海外協力隊の方の講義の様子>



<研修中にディスカッションしている様子>